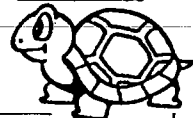


ふかまのまど

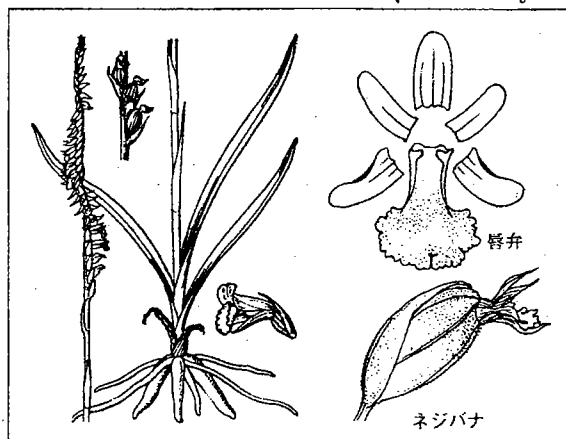
第九十九号 二〇〇二年八月一日
発行元 深町町内会連合会
連絡所 番六三―三三八七



広島県の自然(7)

桑本学 山田 義孝

「ネジバナ」
今、ネジバナのかわいらしい姿があちこちで見られる。最もランらしくないランといわれ、明らかに人里の植物で、人手がある程度入った湿った明るい場所と相性がよく、芝生をここのほか好む地生ランである。分布は広くヨーロッパ東部からシベリアを経て日本全土、さらに温帯・熱帯アジア全域、オセアニアにも生育するという。常緑の宿根草で、根は数本しかなく、葉は白色で太い。葉は少数で根元にあり、茎は高さ十〜三十cm、径四〜五mmの淡紅色の花が多数螺旋形に並んでつ



日本名「ネジバナ」は振れてつく花の様子によるものである。別名に「モジズリ」があり、古く東北地方の名産であったシノグサを用いる型染、信夫振摺(しのぶもじずり)の、振れ乱れた模様になむという。地名も多くナワバナ(岡山)ネジリバナ(福岡)ヒネリバナ(青森)など、ネジバナ系統の

呼び名が多い。ところ、ネジバナのねじれは右巻き、左巻きのどちらであるか。見方によって混乱を生じる。簡単に確実な方法に手を握って親指と一さし指による方法がある。親指の先が成長する方向として、右手でにぎって右手の人さし指を曲げた方向に巻いていけば右巻き、左手でにぎって人さし指を曲げた方向に左右を定義して蔓植物を見ると右巻きか左巻きかは種によって決まっているのが普通である。身の回りで右巻きのものが、両方のものも少数ある。ネジバナの花の場合、蔓でなく、葉の付き方の変形とされている。葉の付き方の一つは互生葉序(葉が互い違いにつく)では葉の付いている位置を結んでいくと、それが茎を回る螺旋になる。ある葉から次の葉を結ぶのに左右両方から回れるが、葉序の定義では一八〇度より小さい方を採ることにし、この回った角度を開度と表現す

置を結んでいくと、それが茎を回る螺旋になる。ある葉から次の葉を結ぶのに左右両方から回れるが、葉序の定義では一八〇度より小さい方を採ることにし、この回った角度を開度と表現す

聞く・まとめる

昨年、「新聞の作り方」について講演会があるので聞きに行かないか、との先輩の言葉に尾道まで出向きました。二時間ばかりの話を内容はほとんど忘れましたが、ただ一つ「見出しは九文字以内」という忠告は今でも鮮明に覚えていま

日刊新聞三〇ページは大変な量で、小さな活字全てに目が通せるもので、見出しに目度で終り、記事は切りラップブック各種報道で流される達の大な量です。我々には自

町内会連合会活動報告

事務局 高崎 修

役員会開催と盆踊り練習
六月二十八日と七月十三日の両日役員会を開催。盆行事は昨年と同じ内容で実施することとしました。特に盆踊りの充実を

盆行事分担
花火Ⅱ下組 ピンゴゲーム
Ⅱ上組 駐車場Ⅱ中組
市民体育大会でBクラス維持に向けて準備を始めました。

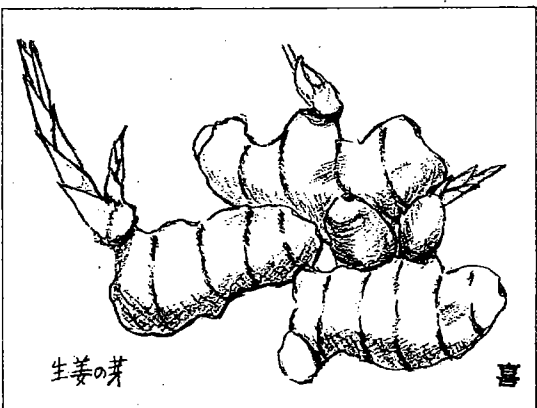
間ばかりの講演会に参加し、耳を傾けました。「生きる勇気の湧くことば」というテーマで、四十台の若い講師のはなしでした。折に触れ大きな声にゼスチャーを加えての熱弁に、会場からは笑い声ももれて見出しを「帰って、今日の話を「見出し」をつけてよ」とメモをめくりました。九文字に要約出来ませんでした。

この一八〇度より小さい方を順次結んでできる螺旋を基礎螺旋というが、その方向は同じ植物でもさまざまな葉序があるのと同時にほぼ半分ずつ、左右両方の基礎螺旋があるとされている。したがって、ネジバナの場合も左右両方向にねじれたものがほぼ同数あることになる。是非確認してみたいものである。なお、ランは菌根菌という菌類と結びついて生きている。菌根菌は枯死した根や葉、樹皮などの有機物に生え、それを分解して生きている腐生生物で、地生ランの大多数は好みの菌と結びつき、ラン自体が腐生生活を

第五一回 市美展

第五一回市美展に、深町から林 美樹雄さん(洋画) 林 宗聰さん(洋画) 船本 赫朗さん(工芸) 岡本 満雄さん(写真)の出品がありました。船本さんは初の応募で、これから楽しみです。T生

両日とも会議の後で盆踊りの練習をしました。女性会の指導の下に四十余人が参加。サンライズ大池からも五人の参加がありました。今後、八月三日(土)午後七時半から練習を行いますので団体役員さんを始め、多数の参加をお待ちしています。



子ども会七月活動報告

深町子ども会 小林 正美

- ◆三原ソフトボールリーグ
深町1-4須波ハイッ
- ◆深町4-5南小
- ◆深町0-12パワーズ
- ◆三菱ゆうわ会ソフトボール
深町1-6本郷
- ◆深町3-10東町
- ◆キックボール
深町2-132糸崎連合

以上が七月の結果で、「勝てるチーム」を目指して全員頑張っています。声援ください。

★謹んでお悔み申し上げます
平川 勝様 八七歳 六月八日

深町各種団体八月行事予定

- ◆小学校・幼稚園
▼全校(園)登校日 一 五百
- ▼登園日 二 二百
- ▼がんばり勉強(二年) 二 二百
- ▼同(三年) 一 二百
- ▼幼児教育講演会(幼) 一 二百
- ▼登校日(二年・五年) 二 二百
- ▼環境整備作業(小・幼) 二 二百
- ▼がんばり勉強(三年・五年) 一 二百
- ▼がんばり勉強(四年) 二 二百
- ▼同(六年) 一 二百
- ▼同(五年) 一 二百
- ▼同(六年) 一 二百
- ▼同(七年) 一 二百
- ▼同(八年) 一 二百
- ▼同(九年) 一 二百
- ▼同(十年) 一 二百
- ▼同(十一年) 一 二百
- ▼同(十二年) 一 二百
- ▼同(十三年) 一 二百
- ▼同(十四年) 一 二百
- ▼同(十五年) 一 二百
- ▼同(十六年) 一 二百
- ▼同(十七年) 一 二百
- ▼同(十八年) 一 二百
- ▼同(十九年) 一 二百
- ▼同(二十年) 一 二百

町内会連合会

- ▼盆踊り練習 一 五百
- ▼盆行事 一 五百
- ▼総法要 一 百

消防団

- ▼ソフトボール大会 一 四百
- ▼県総合防災訓練(リハセル) 一 四百
- ▼同(本番) 一 四百

子ども会

- ▼ヤッサ杯ソフトボール 一 二百
- ▼防犯球技大会(キング・ソフト) 二 四百

女性会

- ▼親睦会(上八巨・中五巨・下二巨)

展望

六月中旬、所用で尾道市から峠を越えて御調町に入った。六人の方がポリ袋を片手に道端のゴミ拾い。しばらくして、今度は深町の県道を如水館高校の生徒が、そして、七月二十一日には深町女性会のみなさんに加えて、小学生とその保護者のみなさんがゴミ拾いに汗を流された。▼地域の清掃以外にも高齢者や障害をもつ人のために少しでも役立てばと、ボランティア活動して居られる人を何人か知っています。生活に余裕があるからこゝろではなく「人として何かに役立てば」という発想が基本になくは無償奉仕はできないでしょう。頭の下がる行動です。しかし、前提は生計が保たれていることです。▼物の売買は売る人・買う人があって成り立つ商売ですが、就職市場も同じです。人手不足で売り手市場は昔の話、現在は企業の合理化即ち、リストアップというところで完全な買手市場です。働き場の確保が如何に難しいかは「有効求人倍率」をみれば一目瞭然で〇・五四一人の求人二人の求職者が殺到するご時勢です。▼総務省が今年七月に発表した二〇〇一年の企業統計によれば、企業数も前回比(前年)二・四%減の百六十一万八千社、従業員数は四・一%減で六千八百七十七千人。増えたのはパートやアルバイトなどで三〇・二%増の千四百三十四万人。今後、「職場が選べる」のはかなり難しくなる予感がします。

御調坂物語 (5)

石井 静夫

叢田から落石・鯨石・亀石

辻堂から南へ下ると、地域の人々の手入れが行き届いて、なだらかな歩き易い自然歩道である。約五百m下った辺りの谷川と歩道の狭間に湿地帯(古老はここを叢田「そうた」といって「いた」がある)がある。

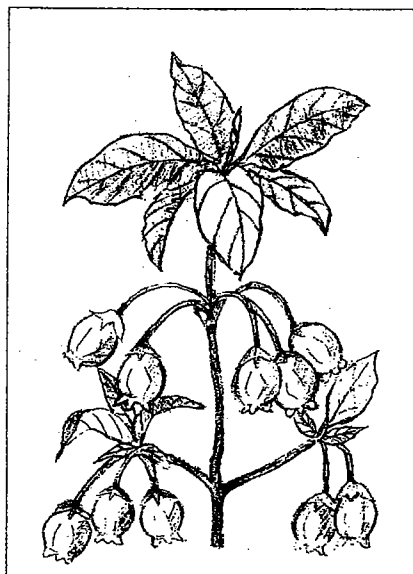
全国どここの山岳地帯にも不思議な花畑がある。代表的なのが白馬岳から杓子岳に至る稜線・利尻礼文島の山・水芭蕉で有名な尾瀬燧ヶ岳など。

この御調坂の叢田にも花畑があった。どうだんつつじ・れんげつつじ・笹百合・水苔が群生し、眺めと香りは通る人々の心を引きつける。

特に、五月下旬から六月にかけて咲く紅薄色のどうだんつつじの花が、鮮やかな新緑に添景

を添えて美しい。又、笹百合の豊潤な香りは通る人の心を癒してくれた。その香りを嗅ぐのを楽しみに、その季節には訪れたものだ。

残念ながら、今はその面影すらない。戦後の植物ブームに多



ドウダンツツジ 喜

し古木もある。そこには、「山の木・山の花」とらないで、撮るのは写真」の立札が見える。

さて、叢田を下り小山を越えたところに、空を突くような巨大な岩がある。

かの武蔵坊弁慶が天秤棒で石を運ぶ途中、誤って一つここに一つは美生に落としたという弁慶の怪力を示す逸話で、「落石」と名付けられている。

ここから又少し下がったところに「鯨石」がある。

今を遡る数億年前、地球の地核変動により日本列島が勃起した時、一頭の鯨が打ち揚げられ横たわったまま化石になったとある古老は話す。

うっそうとした雑草、雑木林

尚寿会だより

尚寿会 幸谷 満夫

一、ゲートボール大会
尚寿会チームは、五月三十日三原市老連の大会に参加し、一回戦久和喜、二回戦八幡、三回戦須波と勝ち上がり、四回戦(準々決勝)で勝てば県大会出場となるところ向田に惜敗。

この他、さつき祭(五月二六

はなしの小箱 (1)

高崎 壽郎

いこの水をたくわえる森林「海へ、山へ」の夏は、また降雨量がすくなく、たちまち濁水さわぎの起こる季節でもある。

こうした時、貯水池に地下水をそそいで水資源をたやさずにいくれるのが森林である。

雨は大半は海に流れるが、蒸発し、四分の一ほどが地中にしみこみ、水資源になるという。

森林が深く広く、山々をおおふほど、地中に蓄えられる水の量は多く、深く地下にしみこんだ地下水の流れは、年にわずかに一メートルほどの速度だといふ。そして、地表に湧き出るまでには三百年も、五百年もかかるという。

なにか、神秘的とも思える話だが、そうすると、いま、のどをうるおす水には、遠い祖先たちが大切にしてくれた森林から湧き出た地下水もあるわけだ。

そう考えると、森林の大切さが改めて痛感される。

の中で、今まで人目につかなかったが、自然歩道等の整備により脚光を浴び、歴史の重みを感じる石である。

鯨石より更に約二百m下ったとこめに「亀石」がある。

鶴は千年、亀は万年という。高平の森の主といわれた一匹の老亀が、享保十七年(一七三二)の大飢饉の時、餌と水を求めて下りてきた。丁度この沢に水溜りがあり、亀は飛び付いて水を飲んだ瞬間絶命したといわれ、大飢饉の様子を伝えていた。

本当に亀によく似た石である。

次号は彭祖湯 ▲▲

日)、市民大会(六月二日)にも参加健闘しました。

二、泥落とし旅行
六月十三日、神石郡三和町の「湯蔵さん」へ二十四人が参加しました。無料送迎バスで一時間二十分と近く、九つの湯と十二品の料理にビール一本が付き、カラオケ無料の湯遊コースで楽しみました。特に三時間のゆっくりとした時間が好評で、これまでで最高の癒しの慰安旅行でした。

深町女性会七月活動報告

★第八回J A女性部ふれあい運動会に参加
駆けつけた。競った。輝いた。参加者十三名、七ブロック中第二位の好成績を得ました。J A中之町出張所にトロフィーが展示してありますのでご覧ください。(七月七)

★夏の料理講習会実施
「家の光」記事活用というところで七月号に掲載されている料理の中、六品ほどつくり参加者が試食会をしました。(七月八)



★サンライズ大池夏祭り参加
ボランティアとして十五名参加し、焼きそばを作り来場されたみなさんに食べていただきました。(七月十日)

★町内クリーンデー実施
「地球にやさしい三原推進協議会」の活動に呼応し七月二十一日、町内クリーン作戦を行いました。

この度は、深小学校の児童とその保護者の方との共同活動とし、学校側七十数名、女性会二十三名の参加を頂き有り難うございました。

ソフトボール スポーツボール
キックベアス 頑張ります
小林 正美

この春、スポーツマンの揃っていた先輩が七人も去り、新六年生のバッテリー以下五・四・三・二年から合わせて一四名の中からチームを作っているらしいです。

チームも一気にメンバーが変ってしまい、足並みも揃わず、試合をしても大差で負けてしまいました。

しかし、ここ最近こんなチームも勝試合ができるようになってきた。親も盛りに上がって来ているところだ。

そして、キックベアスも人数が少なく、思う練習ができず、試合経験もあまりなかったため、試合をするにあたっては、思いがけないプレーができず、大差で負けています。

そこで保護者も立ち上がり、先日、保護者(おかあさん)対子どもチームで試合をして、ル

深町のみなさまへ

深町消防団 團長 正徳

去る七月七日、深町消防団所が新築完成しました。

これからも我々は町内会と連携し、防災と明るく住みよい街づくりを励みます。

今後も消防団活動に力を注ぎ、火災・自然災害が発生した折には最少の被害にとどめるべく最大の努力をしていきたいと心に誓っています。

町内の皆様には更なるご指導

介護保険制度

説明会のお知らせ

町内会 会長 梶谷 和伸

三原市主催の介護保険制度についての説明会が次の日程で行なわれます。

私達のための制度です。より一層理解を深めて頂くために、多数の方々のご来場をお待ちしています。

記



日時 八月二七日 一九時より
場所 深町民会館
講師 市高齢者福祉課職員

ご鞭撻をお願いいたしました。また、屯所完成の報告とさせていただきます。

一部遅れてしまいましたが、深小学校の「修学旅行」が居るため、九月に掲載します。